

第 36 回産研技術室報告会—第 30 回蛋白研技術部-合同報告会

松崎 剛¹ 古川 和弥²¹計測班 機器分析係 ²工作班 装置開発係

開催日程

日 時:令和 5 年 12 月 1 日(金) 13:30~16:35

場 所:大阪大学 産業科学研究所 インキュベーション棟1F 講義室

プログラム

➤ これまでの振り返りとこれからの大学職員人生について	課長(企画部広報課)	田中 護
➤ 質量分析技術者研究会のご紹介	特任研究員(基礎工)	三宅 里佳
➤ 汎用制御機器を用いた技術支援	技術職員	古川 和弥
➤ 蛋白質研究所動物室での業務について	技術専門職員(蛋白研)	辻井 寿典
➤ 有機太陽電池の発電層への応用を指向した可溶性n型有機半導体材料の開発 助教(家研)	陣内 青萌	
➤ 単結晶 X 線構造解析による研究支援業務について	技術職員	嵩原 綱吉
➤ XPS による依頼測定と粉末試料測定について	係長	羽子岡 仁志

報告会を終えて

本年も技術室報告会を蛋白質研究所と合同で開催いたしました。新型コロナウイルスが 5 類に移行されたためオンライン開催とし、他部局含めて 27 名にご来場いただきました。

特別講演では企画部広報課の田中課長にご登壇いただき、長年の阪大職員としての業務の変遷や管理職としての心構えを拝聴させていただきました。技術職員とは異なる視点から、困難な業務をポジティブに切り抜けてきたご経験を共有いただき、今後の阪大職員としてのキャリア形成の参考になりました。

招待講演では基礎工の三宅特任研究員に質量分析技術者研究会に関してご講演いただきました。技術職員が管理する機器の多くは担当者ワンオペで引継ぎが殆どなく、情報交換も難しい状況ですが、三宅さんはこの状況を打破すべく研究会を立ち上げられ、全国規模にまで発展させられました。これまでのご活動のことをお聞きし、諸先輩型のご尽力に改めて敬意を表すとともに、及ばずながら今後の発展に貢献したいと感じました。

他にも陣内助教からは有機太陽電池に関して、蛋白研の辻井技術専門職員からは動物室での業務に関して、さらに産研技術室の 3 名からそれぞれ特色のあるご講演・発表を拝聴することができました。今後も活発な議論・情報交換を行い、技術支援に役立てられるよう、報告会を充実させていきたい所存です。